

基本構想

一転

「世界に誇れる奥州市の 構築を見据える」と加筆なり

先の、平成24年度第一回奥州市議会定例会の第1号議案として上程したものの、審議の結果、平成24年3月6日に否決された案件について、調整の上、改めて提案された議案の審議を行いました。

示された内容は、基本構想の理念については前回と変わりなく提案され、副都の文言については、取り入れないこととしていますが、希望を持つことの出来る計画とするため、修正した点については今後、5年〜10年行財政基盤の確立が、新たなまちづくりの展望を切り開くために不可欠、としつつも、世界に誇れる奥州市の構築と展望を切り開く第一歩の計画としたもので主な質疑の内容を掲載します。

第1回臨時会

議案第2号

奥州市総合計画基本構想
に
関し承認を求めること
について

議案の審議

質問 今回提案された内容は、地域の個性が光り輝く自治と協働のまち、奥州市を世界に誇れるように見据えた、夢のあるまちづくりとして捉えたところだが、具体的にどのように進めていくのか。

答弁 基本計画と合わせて、進むべき方向の戦略プロジェクト、一つは市政発展のプロジェクトの中で、はっきり明記して

いる。奥州市の農産品ブランドオンラインワンプロジェクトは5年間で行う。また、工業振興プロジェクトについては、企業誘致をし、地域経済の活性化を含めた形の中で力を入れていく。リニアコライダーも盛り込んでおり、世界を見据えたプランになっている。

質問 基本構想が承認された後、どのような考えでまちづくりを進められるのか。

答弁 奥州市の大きな発展をめざすには、市民の一体感を醸成し、住んでよかったと思える奥州市を作って行かなければならない。奥州市、この一

言であらゆる方が、理解をいただけるような奥州市を構築していかなくてはならない。

質問 問題の本質は、政策アドバイザーから出されたシンクタンクの提言後に基本構想が出されたことだ。今度の書き直しは何の変更もないと考えざるを得ない。夢を持つと言われても理解しづらい中味である。どのように考えるか伺う。

答弁 見直しのポイントは、施策を丁寧に実施していくために、財政的な裏づけを作らなければならぬ。過大な投資はやめ、硬直化した奥州市の財政状況を柔軟なものとし、

要望に応えられる奥州市を作らなければならないと考えている。

討 論

反対討論

基本構想の最大の問題だと考えるのは、第8節の目標実現のための行動指針であり、第1として市役所をダウンサイジングするとし、迅速かつ大胆に行政の効率性を高めるとあることが、第一に来ること自体、合併時の約束を反故にすることを自ら認めることになる。政策アドバイザーの提言を丸呑みにしかねないものであることから反対である。

賛成討論

市長は、市民との一体感を醸成はなお課題があるとしているが、後期総合計画基本構想をもとに、世界に誇れる奥州市の構築に向けて、市長の積極的な姿勢に期待し賛成するものである。

採決結果はP22に掲載